

平成 16 年度広島県職員採用試験（大学卒業程度）
第 2 次試験（16.7.26）

= 論文課題 =

県の在り方について

平成 12 年 4 月には、いわゆる分権改革一括法（地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律）が施行され、国・地方公共団体は上下・主従から対等・協力の新しい関係に立つこととなり、また近年では三位一体改革によって税源委譲等が進められている。こうした状況の中で、地方公共団体は自らの判断と責任の下に地域の実情に沿った行政を実践していくことが期待されている。

さらに、市町村合併の進展によって県を取り巻く環境が大きく変化し、今後、都道府県の広域化等の議論が避けて通れない状況にある中で、県はどのような役割が期待されており、また、将来、都道府県はどうあるべきかを論じなさい。

〔メモ〕